



大分県社会福祉協議会で働く 先輩職員の声

vol.04
2021年

OUR VOICE



name : 吉岩 宏樹

入職年度 平成27年（勤続7年目）
所 属 福祉資金部
年 代 30代

①現在、どんな仕事をしていますか？

福祉資金部に所属し、生活福祉資金貸付事業を担当しています。

生活に困っている方々の自立に向けた支援を貸付という形で行っている部署となります。

②仕事をしていて、うれしかったことや印象に残っていることは？

借受人から「このお金で本当に助かりました」と電話をいただくことがあります。

また、貸し付けた後の返済の経過を見ることで、支援したことが役立っているのだなと感じられます。日頃直接地域住民と関わる機会が少ないので間接的ではありますが、自分の仕事の意義を感じられる瞬間です。

③大分県社会福祉協議会を志した理由は？

大分県社協に入る前は、通所介護事業所で認知症の方々と関わっていました。その中で、住み慣れた地域で安心して生活するためには、本人だけでなく家族や住んでいる地域を含めた「環境整備」が重要であると学びました。県社協では、一事業所の職員としてではなく、大分県全体の福祉の「環境整備」に携われるのではないかと感じ、志しました。

④県社協職員のやりがいとは？

業務を通して、大分県全体の地域生活を支えている一つとなれることが、この仕事の醍醐味だと思います。また、各部署で関わる人や業務が多種多様ですので、自分自身の見識を深めることもできます。

⑤職場の雰囲気はhowですか？

上司・部下・同僚皆仲が良い、アットホームな職場だと思います。



Message

行政のような仕事だとよく言われますが、より柔軟な発想や企画で大分県の福祉を盛り上げる事ができる仕事です。一緒に働ける事を楽しみにしています。

